
赤 潮 情 報(定期赤潮調査結果)

鹿児島県水産技術開発センター
令和 7 年 5 月 8 日

鹿児島湾 赤潮情報 No.3

[1] 5月8日の調査結果

(1) 赤潮生物の出現状況

通常検鏡で有害種は確認されませんでした。
濃縮検鏡でシャットネラ属を確認(St.③)しました。
珪藻類は全域で少ない状況でした。

(2) 海 況

平年値と比べ表層水温はやや低く、湾奥部で18.7～21.3℃、湾央部で18.8～19.5℃。塩分は平年並みで、32.1～33.7。透明度はやや低く、2.5～5.5mとなっています。

水 温：平均 19.6℃ 湾奥部 19.7℃ 湾央部 19.3℃

塩 分：平均 32.9 湾奥部 32.6 湾央部 33.6

透明度：平均 4.5 m 湾奥部 4.2 m 湾央部 5.3 m

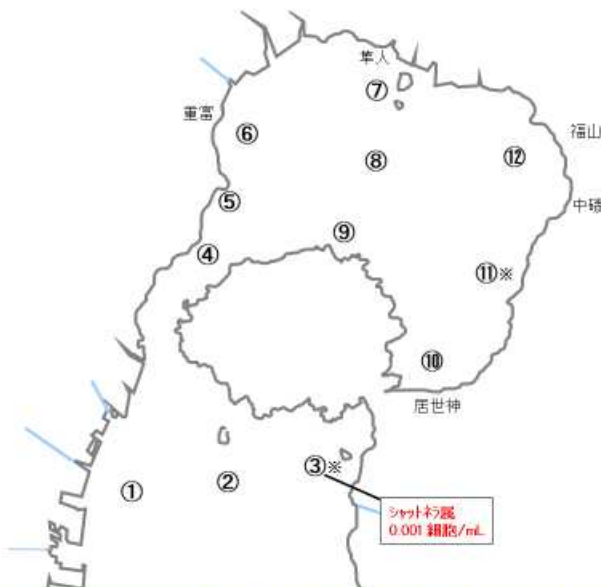
(平年値は平成元年～令和6年5月上旬の平均値)

【鹿児島県水産技術開発センター調査】

鹿児島湾赤潮調査結果
調 査 日：2024.5.8 (木) 若潮
天 候：晴れ
調査時間：7:18 ～ 11:19

- ・通常検鏡で有害種は確認されず。
- ・濃縮検鏡でシャットネラ属を確認(St.③)
- ・珪藻類は全域で少ない。

※は表層海水を濃縮検鏡(1000倍)した調査定点



・平均表層水温：平均 19.6℃(平年比-0.6℃、やや低い) (湾奥19.7℃ 湾央19.3℃)
・平均表層塩分：平均 32.9 (平年比+0.3、平年並み) (湾奥32.6 湾央33.6)
・平均 透明度：平均 4.5 m(平年比-2.1 m、やや低い) (湾奥 4.2 m 湾央 5.3 m)
●平年値は平成元年～令和6年5月上旬の平均値

鹿児島県水産技術開発センター

[2] 今後の赤潮発生の予想

今回の調査で、濃縮検鏡により有害種が確認されました。今後、水温の上昇に伴い、プランクトンの増殖が活発になる赤潮シーズンに入っており、有害種が増殖する可能性がありますので、各漁協・養殖業者におかれましては、定期的に検鏡等を継続し、注意をお願いします。

(次回調査は5月下旬を予定)

赤潮情報(携帯用)：<http://kagoshima.suigi.jp/akashio/i/index.shtml>
赤潮情報(パソコン用)：<http://kagoshima.suigi.jp/akashio/newHP/index.html>

